

平成26年度 指定管理者年度総合評価表

(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年 6月 5日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市青葉湖展望交流施設	
所在地	八戸市南郷大字島守字北ノ畑6番地2	
施設概要	<p>設置目的：世増ダムの建設により水没した世増地区及び畑内地区並びに廃校となった旧増田小学校・中学校の通学区域において育んできた歴史と自然を後世に伝えるとともに、地域住民と都市住民との交流促進と地域活性化を図る。</p> <p>構造：木造2階建（校舎）</p> <p>運用方針：訪問者、体験者の安全に十分配慮しながら、食育・農育、伝統・文化の継承を基盤に諸体験交流を推進する。</p>	
指定管理者	名称	山の楽校運営協議会
	代表者	狹館 博史
	所在地	八戸市南郷大字島守字北ノ畑6番地2
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流施設の使用の許可に関する業務 ・ 交流施設の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・ その他市長が必要と認める業務 	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113（直通）
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>指定管理2期目の最終年度にあたり、指定管理業務、自主事業運営について、職員一丸となり、より一層の努力に努めた。各種体験講座の充実と「そばとひまわりまつり」が広く周知されたこともあり、本年度は過去最高の来場者となった。（50,000人突破）</p>
今後の目標	<p>指定管理3期目の初年度にあたり、過去の実績を見直し、一層の充実に努める。特に自主事業では、会員制の支援者（サポーター）を募集し、定期的な各種体験講座の開催や、遠方で体験講座に参加できない方には、山の楽校や地域で採れた農作物等を提供する制度の「明日の楽校」を新設し、グリーンツーリズムの新しい切り口を開拓し、山の楽校の魅力発信と支援者の増加を図りたい。</p>

■市（所管課）の総合評価

評価	<p>指定管理2期目の5年目（最終年度）の指定管理業務にあたり、適切な施設管理・収支管理が行われていた。例年のとおり多種多様な体験講座に加え、地域の自然や文化が楽しめるイベントを積極的に開催し、施設を有効活用するとともに施設の特徴や地域の魅力を伝えていた。</p> <p>今後とも、南郷地区の主要な体験交流施設として、南郷地区を訪れていただいた方々を古き良き伝統文化でもてなしていただきたい。</p>
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間を延長するなど市民サービスの向上に努めていた。 ・開館時間は朝と夕方それぞれ 30 分間延長し、8:00～17:00 までとした。
法令の遵守	○	施設管理運営に関する関係法令が遵守されていた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。 ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり地域貢献活動が行われた。 ・南郷サマージャズフェスティバルの開催に合わせて地区内の清掃・草刈作業をボランティアで実施していた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育等が適切に行われていた。 ・指定管理業務に支障が出ないように随時必要な教育等を行っていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が十分できていた。 ・震度4の地震発生後速やかに施設を点検し、異常がない旨の報告があった。 ・台風通過後速やかに施設を点検し、異常がない旨の報告があった。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されていた。 ・作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が遅滞なく適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	—	利用料金の減免申請は無かった。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の職員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・生産物賠償保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	22年度から26年度、27年度から31年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	22年度から26年度、27年度から31年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。

重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・浄化槽保守点検及び清掃業務、警備業務、消防設備点検業務は外部業者に委託していた。 ・業務完了報告書などで実施を確認した。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務利用状況	◎	施設訪問者、施設利用者、イベント等で施設を利用した人数が前年実績を上回った。 ・24年度 30,443人 25年度 39,139人 26年度 50,591人(前年比129%)
施設貸出し状況	○	施設貸出し状況については、年間を通して平均的に利用されていた。 ・第1交流室 35回(前年度30回) ⇒そば打ち体験楽校、布ぞうりの楽校等 ・温室栽培施設 4棟(前年度4棟) ⇒野菜の楽校 ・農産物加工施設 82回(前年度40回) ⇒豆の楽校、豆腐づくり体験、麴製造等
その他利用状況	○	各種メディアの取材を積極的に受け入れ、施設概要や体験講座のPRを積極的に行い施設の利用向上に努めた。 ・ラジオ8件 テレビ7件 新聞14件 その他(雑誌・視察等)13件 計42件
自主事業	○	自主事業を多数実施し、施設訪問者の増加に効果があった。 ○体験講座 定期的に開催する各種講座や、利用者からの申込みにより随時実施する各種体験などが年間を通して開催された。 ・体験講座数 37講座(前年度39講座) ・開催数 94回(前年度126回) ・参加人数 4,864人(前年度5,308人) ○イベント 地域の自然や文化が楽しめるイベントを積極的に開催し、施設のPRや施設利用者の増加に努めていた。来場者が前年度より大幅に増加した要因としては、「そばとひまわりまつり」の開催期間を長くし、期間中好天に恵まれたことが挙げられる。 ・来場者数 28,178人(前年度13,869人) (山の楽校まつり、そばとひまわりまつり、新そばまつり、雪蛸まつり等)
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	自主的なサービスを行った結果、サービスの向上に効果があった。 ・そば打ち体験などの出前講座を積極的に実施し、施設のPRに努めた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																		
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>420,000</td> <td>852,930</td> <td>712,000</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>7,169,000</td> <td>7,169,000</td> <td>6,970,000</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> <td>216</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>59,585</td> <td>59,585</td> <td>163,665</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,648,585</td> <td>8,081,731</td> <td>7,845,665</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出②</td> <td>人件費</td> <td>4,088,000</td> <td>3,784,741</td> <td>3,862,800</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>3,549,585</td> <td>3,365,089</td> <td>3,104,980</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>11,000</td> <td>5,450</td> <td>6,615</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,648,585</td> <td>7,155,280</td> <td>6,974,395</td> </tr> <tr> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>59,585</td> </tr> <tr> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>926,451</td> <td>811,685</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・収入は計画を達成し、対前年度比では102%となった。主な要因としては、自主事業の体験講座や農産物加工施設の利用が増加したことが挙げられる。 ・支出が計画より少なかった要因としては、人件費や燃料費等の経費を削減したことが挙げられる。 	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	420,000	852,930	712,000	指定管理料	7,169,000	7,169,000	6,970,000	雑収入	0	216	0	修繕料繰越金	59,585	59,585	163,665	計	7,648,585	8,081,731	7,845,665	支出②	人件費	4,088,000	3,784,741	3,862,800	維持管理経費	3,549,585	3,365,089	3,104,980	事業費・一般事務費	11,000	5,450	6,615	計	7,648,585	7,155,280	6,974,395	次年度修繕料繰越金③	0	0	59,585	収入－支出(①－②－③)	0	926,451	811,685
項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																	
収入①	利用料金	420,000	852,930	712,000																																																
	指定管理料	7,169,000	7,169,000	6,970,000																																																
	雑収入	0	216	0																																																
	修繕料繰越金	59,585	59,585	163,665																																																
	計	7,648,585	8,081,731	7,845,665																																																
支出②	人件費	4,088,000	3,784,741	3,862,800																																																
	維持管理経費	3,549,585	3,365,089	3,104,980																																																
	事業費・一般事務費	11,000	5,450	6,615																																																
	計	7,648,585	7,155,280	6,974,395																																																
次年度修繕料繰越金③	0	0	59,585																																																	
収入－支出(①－②－③)	0	926,451	811,685																																																	
自主事業の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p>収入 2,974,301 円 (計画 2,000,000 円 前年度実績 3,252,165 円)</p> <p>支出 2,190,333 円 (計画 2,000,000 円 前年度実績 2,162,833 円)</p> <p>収支 783,968 円 (計画 0 円 前年度実績 1,089,332 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の見込みより参加者が多くなり黒字となった。 																																																		

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ノート(自由記述)を設置し、利用者や来訪者の率直な意見を取り入れる仕組みを整備し、より良い施設管理に役立てていた。 ・利用者から送られてきた礼状などを貼り出しているが、その内容からも、満足度の高さをうかがい知ることができる。
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験講座やイベントなどの開催概要について、ホームページ等で周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	<p>苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望・感想等を自由に記述できる利用者ノートを設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。

環境への配慮	○ 環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取り組み、リサイクル推進等の対応が適切に行われていた。 ・昨年に引き続き、生ごみを堆肥として再利用しており、自主事業においてもEM（有用微生物群）を使った環境に優しい石けんや田んぼ作りを広めていた。
--------	---

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、備品については随時、浄化槽、防火設備については定められた期間内に点検を実施していた。 ・点検で異常が見つかった場合は、速やかに修繕等を実施する対応していた。 ・施設管理運営や自主事業等について定期的にミーティングを開催し、反省・改良点を確認していた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年度事業計画書、年度収支計画書、月例業務報告書、年間事業報告書が適切に提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	4月2日	担当	寄附を受けた写真パネルの確認
	4月10日	担当	書類・帳簿等の確認	
	4月11日	担当	書類・帳簿等の確認	
	5月8日	担当	施設管理運営に関する事務連絡	
	5月9日	担当	施設管理運営に関する事務連絡	
	5月13日	担当	書類・帳簿等の確認	
	8月12日	担当	書類・帳簿等の確認	
	9月17日	担当	書類・帳簿等の確認	
	10月23日	担当	書類・帳簿等の確認	
	11月14日	担当	書類・帳簿等の確認、備品修繕確認	
	12月2日	担当	施設管理運営に関する事務連絡	
	1月20日	担当	書類・帳簿等の確認	
	2月19日	担当	書類・帳簿等の確認	
	3月13日	担当	書類・帳簿等の確認	
	実施結果			
	<ul style="list-style-type: none"> ・写真パネルは適切に展示されていた。 ・書類・帳簿等は適切に事務処理されていた。 			